



広葉樹材利用に関する調査報告(樹種別一覧表)  
 奈良県森林技術センター 令和5年3月

有用広葉樹 10 種類

樹種名	主な分布域	伐期	木材の用途	その他の用途	樹形	材の特徴	調査本数 (本)		
							平均原木単価 (千円/m <sup>3</sup> ) ( )内は範囲	平均末口径 (cm) ( )内は範囲	平均材長 (m) ( )内は範囲
ヤマザクラ 	低地、中間地帯	15年生～	薪炭材(クヌギ・カシについて良い)	サクラの塩漬け(花)	落葉高木、樹高15～25m、 胸高直径1mに達する	<ul style="list-style-type: none"> <li>やや重硬</li> <li>均一かつ緻密で割れにくい</li> <li>狂いが少ない</li> <li>切削・加工性が良い</li> <li>仕上げ面は美しく、光沢あり</li> </ul>	148		
		50年生～	建築材、家具材、器具材など	サクラ餅(葉)			39 (15～244)	34 (22～70)	2.3 (1.4～5.4)
		200年生～	天板など	燻製用チップ 樺細工(樹皮・30年生以上の木から採取される)					
ミズナラ 	中間地帯、高地	100年生～	建築材、家具材、ウイスキーの樽材など		落葉高木、樹高20～25m、 胸高直径70～100cmに達する	<ul style="list-style-type: none"> <li>重硬、緻密</li> <li>強度が強い</li> <li>柾目面に現れる虎斑が美しい</li> <li>切削・加工はやや困難</li> <li>表面仕上げは中庸</li> </ul>	5		
		200年生～	天板など				35 (30～38)	39 (32～44)	3.1 (2.0～5.0)
クリ 	低地、中間地帯、高地	50年生～	床材・土台など		落葉高木、樹高30m、 胸高直径30～40cmに達する	<ul style="list-style-type: none"> <li>肌目は粗い</li> <li>水湿に耐え、耐久・保存性が極めて高い</li> <li>切削・加工はあまり容易ではないが、割裂は容易</li> <li>表面仕上げは中庸</li> </ul>	20		
		100年生～	建築材、家具材など	食用(実) 染料(樹皮)			36 (21～62)	32 (22～40)	3.0 (2.0～4.3)
ブナ 	中間地帯、高地	100年生～	建築材、家具材、器具材など		落葉高木、樹高20～25m、 胸高直径60～70cmに達する	<ul style="list-style-type: none"> <li>板目面に斑点(カシ目、ブナ目)</li> <li>均質で、強度あり</li> <li>切削や曲げなどの加工性は良好</li> <li>乾燥時に狂いが生じやすい</li> <li>表面仕上げは良好</li> </ul>	1		
							40 (40)	30 (30)	4.4 (4.4)
イタヤカエデ 	中間地帯、高地	50年生～	木工品など		落葉高木、樹高15～25m、 胸高直径1mに達する	<ul style="list-style-type: none"> <li>緻密、重硬で靱性がある</li> <li>仕上げ面は美しい</li> <li>様々な空(鳥眼空、縮空など)が現れることがある</li> <li>切削、加工はやや困難</li> <li>曲げ木に好適</li> </ul>	5		
		100年生～	建築材、家具材、器具材など	メープルシロップ(樹液)			87 (36～133)	61 (20～86)	3.7 (2.0～5.0)

樹種名	主な分布域	伐期	木材の用途	その他の用途	樹形	材の特徴	調査本数 (本)		
							平均原木単価 (千円/m <sup>3</sup> ) ( )内は範囲	平均末口径 (cm) ( )内は範囲	平均材長 (m) ( )内は範囲
トチノキ 	中間地帯、高地	100年生～	家具材、器具材など	食用 (実・早くて15年生前後、通常40～50年生以上) 薬用 (実)	落葉高木、樹高25m、 胸高直径2mに達する	・軽軟 ・赤身を帯びた肌色で、やや緻密 ・様々な杻(縮杻、波状杻など)が 現れることがある ・光沢があり、板目面にさざ波 模様 (リップルマーク)が現れる ・木理が不規則で、狂いやすい	65		
		200年生～	天板など				150 (19～667)	60 (26～118)	2.7 (1.2～6.0)
ミズメ 	中間地帯、高地	100年生～	建築材、家具材、器具材など		落葉高木、樹高20m、 胸高直径60cmに達する	・やや重硬 ・強度が強い ・材はサクラに似て、美しい ・割裂は困難 ・表面仕上げは良好	16		
							50 (33～106)	38 (26～68)	4.1 (2.8～6.0)
ケヤキ 	低地、中間地帯、 高地	50年生～	木工品、インテリアなど		落葉高木、樹高10～40m、 胸高直径1～2mに達する	・やや重硬 ・強度が強い ・狂いが少なく、弾力性がある ・肌目は粗いが、磨くと光沢が出る ・様々な杻 (玉杻、如鱗杻、鶉杻、 牡丹杻など) が現れることがある	123		
		100年生～	建築材、建具など				59 (7～230)	47 (16～86)	3.4 (1.0～7.2)
		200年生～	突板・天板など						
キハダ 	中間地帯、高地	50年生～	建築材、家具材など	胃腸薬 (内樹皮・20年生 前後) 染料 (内樹皮)	落葉高木、樹高25m、 胸高直径1mに達する	・広葉樹としては軽軟 ・切削・加工は容易 ・肌目が粗い ・乾燥で狂いやすい ・クリの次に湿気に強い	3		
							160 (50～270)	57 (34～68)	3.3 (2.0～4.0)
オニグルミ 	低地、中間地帯、 高地	50年生～	建築材、家具材、器具材など	シロップ (樹液) 食用 (実・10年前後か ら)	落葉高木、樹高20m、 胸高直径30cmに達する	・広葉樹としては軽軟 ・均質かつ木理が通直で狂いにくい ・切削・加工は容易 ・肌目は粗いが、油を染みこませ、 よく拭くと鮎色の光沢が出る	8		
							76 (39～260)	35 (28～54)	2.5 (1.9～4.4)

低地：標高600m以下、中間地帯：標高600mより高く標高800mより低い、高地：標高800m以上

※ ヤマザクラ、ミズナラ、イタヤカエデ、オニグルミの平均原木単価、平均末口径、平均材長は、それぞれサクラ、ナラ、カエデ、クルミのものを記載している